

teleSUR

3月15日

グテーレスの警告： ウクライナ紛争の途上国への影響 UN Warns of Global Consequences of Russia—Ukraine Conflict

<https://www.telesurenglish.net/news/UN-Warns-of-Global-Consequences-of-RussiaUkraine-Conflict-20220315-0001.html>

リード

世界の食料価格指数は過去最高水準に達している。

グテーレス国連事務総長は、国連担当記者との会見を開き、あらゆる手段を講じて飢餓の暴風と食料システムの崩壊を回避することが必要だと強調した。

以下は**グテーレス談話の要点**

食糧危機と飢餓の懸念

ウクライナ紛争は途上国にとって、他人事ではありません。なぜならロシアとウクライナは、何種類もの資源の世界的供給国だからです。

両国は世界のヒマワリ油の半分以上、小麦の約30パーセントを産出しています。ウクライナだけで、世界食糧計画における小麦供給の半分以上を賄っているのです。

まさにその領土で、重大な紛争が進行しています。このままでは収穫ができなくなります。

一方ではサプライチェーンが寸断される中で、食料、燃料、肥料の価格が高騰しています。輸入商品の到着は遅れ、コストは高騰しています。もし到着したとしても、その価格はとんでもないものになります。

以前からの経済危機が顕在化、重大化

もともと紛争以前から、途上国は記録的なインフレ、金利の上昇、差し迫った債務返済によって苦しめられてきました。その上、COVID-19の大流行に苦しめられ、そこからの回復に必死でした。

途上国の対応能力は、資金調達コストの指数関数的な上昇によって失われました。資金欠乏と過重債務が最貧層を苦しめています。そしてそれが世界中で政情不安と不安の種をまいているのです。

最大の影響は穀物価格の高騰

穀物価格はすでに 2007 年から 2008 年にかけて記録された食糧暴動の時の価格を超え、「アラブの春」の始まりの時のレベルを超えました。

いま世界の食料価格指数は過去最高水準にあります。飢餓の暴風と食料システムの崩壊を回避することが、まさに急務となっています

農産物や資源価格の高騰によって、最も大きな打撃を受けるのが途上国です。先進国指導者に訴えたいのは、政府開発援助や気候変動対策を犠牲にして軍事予算を増やそうとする誘惑に負けないことです。

ウクライナ戦争はまさにその悪い見本です。それは、化石燃料への世界的な依存が強まることで、エネルギー安全保障、気候変動対策、世界経済が翻弄されていることを示しています。それが地政学上の典型的な事象となっているのです。

パンデミックと気候激変にウクライナが追い打ち

ウクライナの戦闘の背景となっているのは、新型コロナのパンデミックと地球を襲う気候の激変です。

国連はこの複雑な状況を乗り越えるために、事務総長直属機関として「食料、エネルギー、金融に関するグローバル危機対応グループ」を設置することを決めました。

繰り返しますが、**戦争のさらなる激化は人類すべてを脅かす**ものです。それゆえ、**対話、外交、平和への道を開くことが、これまで以上に急務**となっています。

この観点から、国連事務局は敵対行為の即時停止、国連憲章と国際法の原則の確認、それに基づく真剣な交渉の推進を呼びかけるものです。